

地域でたくましく生き抜くことのできる心豊かな子どもの育成
～一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす学校 インクルーシブな社会をリードする学校～



Rainbow

令和3年12月 須坂市立須坂支援学校 学校だよりNo48

「自分から 自分で 精いっぱい」

仲間といっしょに 自分らしく輝いた二学期の須坂支援の子どもたち
～学校へのご支援、ご協力 ありがとうございます～



○二学期の学校生活の様子から

小学部そら・ほし組(低学年)9月生活単元学習「わくわく どきどき みにみに運動会」



そら・ほし組の9月生活単元学習は、前庭で、かけこやダンス、玉入れなどを行う、「みにみに運動会」。「一番高いかごに玉を入れるよ」「先生より速く走ってゴールするぞ」など、自分のめあてに向かって楽しく力いっぱい取り組む毎日を積み重ねました。



須坂小・支援学校運動会(9月18日)

青空の下、両校の子どもたちの活躍する姿が校庭いっぱいに繰り広げられました。張り切って自分の種目に出場する姿、最後まで走り抜く姿、須坂小のお友だちといっしょに一つの表現をつくり出す姿など、精いっぱい取り組む子どもたちの姿がたくさん見られました。



中学部10月生活単元学習「みすずまつりを楽しもう」



中学部では、一学期に自分たちで整備した中庭「みんなのひろば」で、10月「みすずまつり」を開催。小学部や、常盤中のぞみ・かまた組の友だち、おうちの方、須坂市社協の方を招待して、みんなで中学部手作りのゲームや足湯、歌、ダンスを楽しみました。「みんなのひろば」は大賑わい。笑顔あふれる、すてきなお祭りになりました。「楽しかったよ。ありがとう」と声をかけてもらい、中学部の子どもたちの笑顔が一層、輝きました。

須坂小・支援学校音楽会(11月2日)



須坂小5・6年生みんなから手拍子をもらいながら、「アイタイ!」の曲によって気持ちよく手作りのタイコを打ったり、体を揺らしたりと、全身で楽しさを表現した小学部。体育館にいるみんなで作くり上げる、すばらしいステージとなりました。須坂小5・6年生からは、「みんな自分で作った楽器で演奏していてすごいな~と思いました。すごく楽しかったです」「みんなとてもノリノリで、こっちも元気が出てきました!もう1回聞きたいです」などの感想が寄せられました。



○地域の皆様に支えていただいた二学期

豊田種苗店様より野菜の苗や花の種をいただきました(小・中学部)

豊田種苗店様より、食育教育の一環として、小学部・中学部それぞれが希望したミニトマトやナス、枝豆などの野菜の苗や、パンジーの花の種などをプレゼントしていただきました。苗を植え、水やりをしたり、草を取ったりと毎日、世話をし、大きくなった野菜を収穫。収穫した野菜をおいしくいただき、栽培活動の喜びを味わうことができました。



須高五岳ロータリークラブ様より教材を贈呈していただきました(小・中学部)



須高五岳ロータリークラブ様より、子どもたちが希望した教材(バランスマーカー、フロアホッケーセットなど)を贈呈していただきました。学級や部で、日々の学習に活用させていただきます。

製品づくりや販売について地域の方からアドバイスをいただきました(中学部)

中学部では、9月、生活単元学習「レインボーショップで売る製品を作ろう」に取り組みました。木工班では廃棄処分となった跳び箱を利用して踏み台を製作。高齢の方向けの段差解消の踏み台として販売しようと考え、高齢の方のかかわりが強い須坂市社会福祉協議会の職員の皆さんから製品づくり・販売のアドバイスをいただきました。実際に生徒が製作している様子を参観していただき、懇談。高齢の方が安全に生活する上で役立つ製品であること、廃棄物の再利用をしている点や、どの生徒も精いっぱい取り組むことができる製作となっている点などSDG'sの視点からも評価できる活動であることを褒めていただきました。踏み台のことは社会福祉協議会の広報にも掲載され、多くの市民の方が踏み台を購入してくださいました。



※ 令和3年度二学期も、須坂支援学校28名の子どもたちの大きな成長を感じながら、無事に終了することができました。保護者の皆様、地域の皆様のお支えに感謝申し上げます。12月25日から1月5日までの冬休みの期間中、事故や怪我、感染症等に罹患した場合など学校へご連絡ください。なお、12月29日~1月3日は学校が無人化となりますので、緊急時は須坂市役所[245-1400]にご連絡ください。

寒い毎日が続きますが、健康に留意し、よいお年をお迎えください。

(文責:教頭)